



# 石巻広域クラブ通信 <No.102>

THE Y'S MEN'S CLUBS OF GREATER ISHINOMAKI  
CHARTERED MAY 28, 2016

YMCA-ISHINOMAKI-CENTER  
KyuEikoyochienchinai2-12-3, Okaidokita,  
Ishinomaki, 986-0854, Japan

〒986-0854 石巻市大街道北 2-12-3  
旧栄光幼稚園 2階 YMCA 石巻センター  
電話 090-1373-3652(川上) 090-2365-7940(清水)

2025年3月号

E-mail : [gishinomaki@gmail.com](mailto:gishinomaki@gmail.com)

E-mail: [koichi6759@outlook.jp](mailto:koichi6759@outlook.jp)

== 2024-2025 年度 主題 ==

クラブ会長 関川祐一郎 「お互いを知り、支え合いながら、地域を愛し、地域に奉仕しよう！」  
北東部部長 大久保知宏(宇都宮) 「戦略 2032 を意識して」  
東日本区理事 山田公平(宇都宮) 「ワイズの方向性を見極める」  
アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウォン(香港) 「大きなインパクトを起こそう」  
国際会長 A・シャナヴァスカーン(インド) 「より良い世界のために、共に」

<今月の聖句>

「主にあつて喜びなさい。主は近いのです」(フィリピ 4:4)

<強調月間> CS・Green Project・ワイズメネット

## 2025年3月第一例会プログラム

日時 3月11日(火) 18:30~20:30

場所 石巻グランドホテル

<例会プログラム>

司会：川上直哉

1. 開会点鐘 会長 関川祐一郎
2. ワイズソング・ワイズの信条 一同
3. ゲスト・ビジター紹介 司会
4. 入会式(別紙式次第をご参照ください) 会長  
入会者：川上 恵さん
5. 祝会
  - (1) 会長あいさつ 関川祐一郎
  - (2) 今月の聖句・お祈り 会長
  - (3) 歓迎の乾杯 仙台YMCA総主事 加藤雄一
  - (4) 食事と懇談
  - (5) お祝いのひとつこと、歌など
    - ①山下次期理事 ②金指崇さん ③神戸ポートクラブ
    - ④東京むかでクラブ ⑤石巻広域クラブ
6. 3DBC(神戸ポート・東京むかで・石巻広域)交流会
7. 諸報告
  - ①YMCA報告 ②東・西日本区大会 ③その他
8. ハッピーバースデー 2日：青木まりえさん 12日：小笠原均さん、20日：阿部かよ子さん
9. ニュニコ 「タイワークキャンプ・ユースプログラム支援のために」 会計
10. 閉会あいさつと点鐘 次期会長 石川光晴

「3.11から14年を数えて、心新たに」

～追悼・感謝・そしてこれから～

石巻広域クラブ会長 関川祐一郎



東日本大震災から14年を迎えました。3月11日は各地で追悼の催しが行なわれ、当クラブでも追悼記念礼拝がささげられました。対面、オンライン含めたくさんの方々がお参加くださり、祈りを共にすることができました。

私事になりますが、この4月より、14年間過ごしたここ石巻を離れ、東京にある井草教会に転任することになりました。2011年3月11日に東京の神学校を卒業し、3月末に石巻にやって来ました。石巻に到着した日、最初に目にした日和山からの光景は、一生忘れることはないでしょう。その光景を目の当たりにして、神さまはなぜ、このような試練をお与えになるのか。そう問わざるを得ませんでした。<次ページへつづく>

■2月データ / 3月号内容：3月例会プログラム・巻頭言「3.11から14年を数えて、心新たに」、2月例会報告、3月拡大役員会報告、4~5月クラブスケジュール、4月例会案内、ヨガ教室報告、3.11追悼礼拝・感謝の会報告、YMCA報告、投稿「自画自賛」

会長 関川 祐一郎  
副会長 石川 光晴  
書記 川上 直哉  
会計 清水 弘一  
直前会長 青木 満里恵  
担当主事 半澤 明美  
監事 石田 信正

2月例会出席	12名	在籍会員数	17名	各種記録	月実績	年度累計
メンバー	9名	月間出席者	9名	スマイル	6,800円	69,470円
ビジター・メネ	0名	メーキャップ	1名	ファンド	0円	29,302円
ゲスト・コメ	3名	月間出席率	59%	BF	0円	0円

## <1面から続く>

この14年間、牧師として自らの無力さを日々痛感しながらも、神さまが教会やワイズメンズクラブ、地域の方々と豊かな出会いを与えてくださったことに心から感謝しています。それぞれが困難の中に置かれていながら、私たち家族にたくさんの愛情を注いでくださり、濃密な14年間を過ごすことができました。



↑石巻復興記念公園の2025追悼会場  
↓2011年、日和山公園からの震災風景



今、石巻を離れるにあたって改めて実感していることは、震災に限らず私たちには避けようのない試練が襲うということです。今まさに試練に遭遇している人がいます。その傍らにありながら、どうすることもできない自分自身の無力さを覚えます。しかしそのような私たちに聖書は告げます。「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」

この言葉に心新たにされて、隣人と「共にある」歩みの一歩を踏み出して参りたいと思います。



3.11 追悼礼拝



3.11 感謝の会挨拶



感謝の会ハーブ演奏

## 2025年2月第一例会報告

日時 2025年2月21日(金) 18:30~20:30

場所 石巻山城町教会

出席者 関川祐一郎、青木満里恵、石井龍子、大林健太郎、梶原友広、川上直哉、川上灯(コメント) 半澤明美、清水弘一

<ゲスト>松川ふみ子、遠藤正枝 <MC>石川光晴、平井順子

1. 開会点鐘 会長 関川祐一郎
2. ワイズソング・ワイズの信条 一同
3. ゲスト・ビジター紹介 司会
4. 会長あいさつ 会長
5. 食前感謝 会長
6. 食事と懇談
7. メンバースピーチ  
川上直哉ワイズ、川上灯コメント  
テーマ:「震災を忘れない」ことの意味を考える
8. 諸報告とアピール 担当  
①仙台YMCA報告②3.11追悼礼拝と感謝の会の件③3月第一例会と神戸ポートクラブとのDBC交流会  
④神戸ポートクラブ・チャリティーコンサート  
⑤DBC東京むかでクラブ・Y・Y・Yシニアキャンプの件⑥東西日本区大会の件⑦その他諸報告
9. ニコニコ 会計  
「TOF/FFのために」 6,800円
10. ハッピーバースデー  
2月15日:日野峻さん
11. 閉会挨拶と点鐘 副会長 石川光晴

### 2月第一例会要旨

2025年2月21日(金)午後6時半から、日本基督教団石巻山城町教会で、例会が行われました。3月で同教会を退任され東京へ転任される関川会長のお世話を頂き、オンラインでの接続等、快適な環境での催行となりました。

メンバースピーチは、コメントの川上灯さんが担当されました。1月17日に、阪神淡路大震災から30年となりました。その日に、神戸ポートクラブ(とりわけ大野さんご夫妻)のご高配を頂き、私(川上直哉)と灯さんは、神戸を訪ねたのでした。灯さんは、その旅の報告をしてくださいました。

2025年1月17日の神戸では、一日中、マスコミを始め各所で、震災関連の情報が発信されていました。「忘れない」という強い意志が、そこに現れていました。しかし、そうであればこそ、「震災を忘れない」という事の難しさを、灯さんはお感じになったそうです。<次ページにつづく>

<前ページよりつづく>

様々な施設は「恐怖心をあおる演出」に注力しており、それは、成功しているように見える。けれど、「震災」は、そうしたものを超えるものではなかったか。そもそも「震災」は、事後に体験できるものであるのか。そうした問題意識の中で、「忘れない・共有する、ということ自体の難しさを共有すること」を目指して、追悼式があるのではないかと、スピーチは纏められていました。

例会には神戸からも東京からも参加者があり、皆さん、灯コメントのスピーチを温かく聞いて下さり、鋭い指摘も加えて下さいました。大学1年生でもある灯コメントにとっては、得難い貴重な経験となったことを思います。

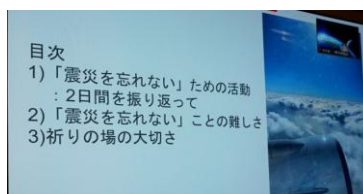
会の最後に、3月11日に予定している「追悼礼拝と感謝の会」についての確認と打ち合わせが行われました。「2月の例会」として(つまり、1月と3月の間に行われた例会として)、良い時間となりました。参加くださった皆様に、心から感謝しています。(川上書記)



↑2月第一例会(山城町教会)



↑オンライン画面と参加者一同



↑テーマ:「震災を忘れない」と灯コメント

## 3月拡大役員会報告

日時 2025年3月28日(金) 17:00~18:15

場所 石巻山城町教会

出席者 関川祐一郎、石川光晴、青木満里恵、川上直哉、清水弘一、石井龍子、大林健太郎

<プログラム>

- |           |    |
|-----------|----|
| 1. 開会点鐘   | 会長 |
| 2. ワイズソング | 一同 |
| 3. 会長あいさつ | 会長 |
| 4. 軽食     | なし |

### 5. 報告事項

#### (1) 2025年2月第一例会の開催報告

日時 2025年2月21日(金) 18:30~20:30

場所 石巻山城町教会

内容 メンバースピーチ 川上直哉ワイズ

(石巻栄光教会、書記)、川上灯コメント

テーマ:「震災を忘れない」ことの意味を考える

出席者 関川祐一郎、青木満里恵、石井龍子、大林健太郎、梶原友広、川上直哉、川上灯、半澤明美、清水弘一<ゲスト>松川ふみ子、遠藤正枝

<MC>石川光晴、平井順子

#### (2) 3.11 追悼礼拝と感謝の会 2025 報告

日時 2025年3月11日(火) 追悼礼拝 14:30~15:10 感謝の会 15:15~15:45

場所 日本キリスト教団石巻栄光教会礼拝堂

出席者 阿部頌栄、加藤雄一、吉永肇子、山田公平、山下真、大久保知宏、菅野健、金指崇、涌澤博、青木満里恵、石井龍子、大林健太郎、大林祐子、梶原友広、川上直哉、川上恵、川上灯、清水弘一、日野峻、半澤明美、石巻栄光教会の皆さん<オンライン参加者>山田滋己、小原史奈子、為我井輝忠、東京YMCA会員部の皆さん、仙台YMCA職員の皆さん、石巻栄光教会関係者の皆さん等 約50件

内容 ①3.11 追悼礼拝 説教:阿部頌栄(仙台富沢教会牧師)「小さな声わたしたちを動かす」奏楽:吉永肇子(仙台YMCA長町こども園)司会:川上直哉 ②感謝の会(主催者あいさつ)青木満里恵(共催者あいさつ)ワイズメンズクラブ東日本区理事山田公平、公益財団法人仙台YMCA総主事加藤雄一(閉会のあいさつ)4ワイズメンズクラブ連絡会議代表菅野健、全員で合唱「花は咲く」ハープ演奏:石井龍子

#### (3) 3月第一例会の開催報告

日時 2025年3月11日(火) 18:30~20:30

場所 石巻グランドホテル

出席者 関川祐一郎、青木満里恵、石田信正、石井龍子、大林健太郎、大林祐子、梶原友広、川上直哉

川上恵、川上灯、川上奏、関川祐一郎、清水弘一、林昭宏、日野峻、半澤明美<ゲスト・ビジター>、加藤雄一、山下真、大久保知宏、金指崇、大野勉、大野智恵、北島伸三、田代雅彦、涌澤博 (25名)

内容 ①川上恵さん入会式(司式:関川会長、立会人:山下次期理事、加藤総主事、大野智恵(神戸ポートクラブ) ②3DBC 交流会・アピール ③諸報告とアピール(ユースプログラムのアピール等) ④誕生日祝い(2日:青木さん、12日:小笠原さん、20日:阿部かよ子さん) ⑤ニコニコ:37,500円(タイワークキャンプ・ユースプログラム支援のために) ⑥神戸ポートクラブとのDBC 交流会(21時~えんや)

#### (4) 3.11 被災地視察案内(川上書記、川上灯コメント、清水会計随行)

日時 2025年3月11日(火)9時~13時  
(山田理事、渡波一サンファン館一日和山公園)  
2025年3月12日(水)8:00~14:30  
場所 12日:石巻-大川小-雄勝-南三陸-気仙沼-石巻

参加者 11日:山田理事 12日:大野勉・大野智恵・北島伸三・田代雅彦(神戸ポートクラブ)

#### (5) (仮称) ふくしまワイズ設立準備会議の報告

日時 2025年3月10日(月)10:30~12:00  
場所 福島主のあしあとキリスト教会  
出席者 大島博幸牧師、山田東日本区理事、山下次期理事、川上書記、清水会計(オンライン出席者) 大久保北東部長、加藤仙台YMCA 総主事、宮田茨城YMCA 総主事、濱塚盛岡YMCA 総主事(欠席)

内容 ①経過説明と出席者紹介 ②設立準備会に向けての資料配布とコメント ③福島キッズケアパークプログラムの可能性について(年間事業費200万、3/22視察:山田理事)

#### (6) 東日本区大会2026(石巻大会)ホスト実行委員会の動き

- ① 石巻市長への挨拶と開会式来賓挨拶のお願い(3月10日15時)
- ② 教育委員会生涯学習課
- ③ (一社)石巻観光協会(阿部常務)
- ④ 参加者:山田理事、山下次期理事、川上ホスト実行委員長、清水事務局

## 6. 協議事項 議長 関川祐一郎

#### (1) 2025年4月第一例会の開催について

日時 2025年4月25日(金)18:30~20:30  
場所 YMCA 石巻センター  
内容 ゲストスピーカー(小松先生予定)

#### (2) ハボン・ハセクラ協会東北クロッシングII開催支援について

日時 2025年4月9日(日)~4月11日(金)  
内容 ①4月9日(水)松島瑞巖寺出発~日和

山出迎え、夕食会②4月10日(木)月の浦出発見送りとWack 女川スタジアムでの出迎え、夕食会

参加者 川上、青木、清水、大野(神戸ポート)

#### (3) YMCA ストレッチヨガ教室開催の件

日時 2025年4月16日(水)10時~12時  
場所 市営新蛇田集会所  
出席者 青木、平井、清水、川上  
その他 通算46回目

#### (4) 第29回東日本区大会2026(石巻大会)第2回ホスト実行委員会の開催について

日時 2025年4月19日(土)15時~17時  
場所 石巻センター  
議事 ①基調講演者の候補 ②東日本大震災記念誌の発行について ③エクスカージョン計画 ④物品販売コーナーの計画について ⑤晩餐会の企画 ⑥主会場(まきあーとテラス)の申込日2025年6月1日(0時)、申込責任者の選任(川上委員長) ⑦その他(プログラムのテーマ:復興と国際交流)

#### (5) 3.11 記念誌の発行について

- ① 4ワイズメンズクラブ常議員会の方針と計画
- ② 発行委員会と編集委員会の編成案
- ③ 発刊までのスケジュール、発行部数、配布先、
- ④ 経費など

#### (6) DBC 神戸ポートクラブチャリティーコンサート参加について

日時 2025年4月26日(土)14:00~16:00  
場所 神戸聖愛教会礼拝堂  
参加者 川上直哉・石井龍子、大林祐子、清水弘一

#### (7) DBC 東京むかでクラブ2025シニアY・Y・Y キャンプ開催について

日時 2025年5月30日(金)~6月1日(日)  
場所 YMCA 山中湖センター  
内容 日帰り、部分参加可能  
参加者 清水弘一

#### (8) 第28回東・西日本区大会参加と2026石巻大会アピールについて

##### <東日本区大会(宇都宮)>

日時 2025年6月6日(金)~7日(土)  
場所 ライトキューブ宇都宮  
参加者交通手段 ①6月6日(金)出発グループ  
②6月7日(土)出発グループ③手段:ワゴン車又は新幹線

##### <西日本区大会(神戸)>

日時 2025年6月14日(土)午前9時~午後20時前夜祭は、13日  
場所 ANA クラウンプラザホテル神戸  
参加者 川上直哉、清水弘一

#### (9) 第31回アジア太平洋地域大会熊本2025への参加について(下:スケジュール一案)

日時 2025年8月1日(金)~3日(日)

場 所 熊本城ホール、ホテル熊本日航など  
 参加者 川上直哉、川上恵、石井龍子、櫻井美智江、  
 清水弘一

7/31 :仙台～福岡空港～熊本 J R (市内泊)  
 8/1 :熊本大会 (第一日目) ( " )  
 8/2 " (第二日目) ( " )  
 8/3 " (第三日目) (市内又は周辺観光地泊)  
 8/4 市内又は周辺観光 (福岡空港～仙台空港)

(10) 次年度 (2025-2026 年度) のクラブ会長  
 方針、事業計画などの検討

① 次年度会長方針と年間計画 ②次年度役員構成

③ 区大会ホスト委員会スケジュールの作成

(11) クラブブリテン4月号の発行について

- ・発行日 2025年4月24日(木)、原稿締め切り  
 4月19日(土)
- ・内 容 ①4月号巻頭言(梶原友広ワイズ)  
 ②3月第一例会報告(川上) ③神戸ポータル  
 クラブチャリティーコンサート報告(石井龍子)  
 ⑤ 投稿「自我自賛」(石田監事)

(12) その他 (今年度後期クラブ会費納入の  
 お願い、その他)

7. 閉会あいさつと点鐘

関川会長

クラブスケジュール (3~5月)

プログラム名	月 日	場 所
クラブ3月拡大役員会	3月28日(金)	石巻山城町教会
〃 4月拡大役員会	4月11日(金)	石巻センター17時
ハボン・ハセクラ東北 クローキングⅡ	4月9日(水) ~4月10日	9日:瑞巖寺~日和山 10日:月の浦~女川
YMCA ヨガ教室(P46)	4月16日(水)	新蛇田集会所 10時~
第2回区大会ホストク ラブ実行委員会	4月19日(土)	石巻センター 15:00~
4月第一例会	4月25日(金)	石巻センター
神戸ポータルクラブ チャリティーコンサート	4月26日(土) ~27日(日)	神戸聖愛教会礼拝堂
クラブ5月拡大役員会	5月9日(金)	石巻センター 17時
〃 5月第一例会	5月23日(金)	石巻センター
東京むかでクラブ シニア Y・Y・Y キャンプ	5月30日(金) ~6月1日(日)	東京 YMCA 山中湖セ ンター
東日本区大会 2026 マキ アート会場申込	6月1日(日) 0時	マキアート(インター ネットで申込)

① ボランティア感謝会

3月16日(日) ボランティアの皆さんへの感謝  
 会が開かれ13名の学生リーダー、5名のワイズ  
 メンが参加くださいました。YMCAの活動は学生  
 リーダーをはじめ、たくさんの方の力によって支え  
 られています。あたらめて感謝申し上げます。

② 各施設で卒園・卒業式が開催されました。

幼稚園、こども園、保育園、専門学校にてそれ  
 ぞれ卒園・卒業式が執り行われました。  
 どの施設からも別れを寂しがる声とともに保護者  
 の方からの感謝の言葉が聞かれました。施設を離れ  
 ても、YMCAとの関りが続いていきますように祈  
 ります。

③ 社会福祉法人野外保育場の名称決定

仙台市泉区福岡に準備している、野外保育場の名  
 称が「YMCAめぐみのもり からふる」に決定し  
 ました。“からだ”と“ハートフル”を合わせた“か  
 らふる”という言葉には「からだもこころも育つ場  
 所」という意味が込められています。

現在は炊事場やトイレなどの工事が進んでいま  
 す。



← 野外保育所敷地の  
 西側を流れる小川



↑ 建設中の炊事場・トイレなど



↑ YMCA 幼稚園の卒園式

3.11 発生から 14 年を迎えるとき、石田信正ワイズ (監事) より現役時代、今では魚食の主演となっているサケ・マス海面養殖研究に携ったことを伺う機会がありました。このたび、「サケ・マス研究の回顧録」についてブリテンへの投稿をお願いし実現しました。今回号と次回号と 2 回に分けて掲載・紹介しますのでぜひお読みください。なお、石田さんは亡きお父さんから誕生祝として贈られた津波の被害を受けた聖書を修復し、2021 年石巻栄光教会に寄贈され、その記事は本ブリテンの 54 号に掲載されております。

### <3.11 とサケ・マス研究回顧録>

## 自 画 自 賛

投稿 石田 信正

### プロローグ



毎日世界のどこかで、わが国初・世界で初めて、という事柄が生まれています。例えば登山では未踏ルート登攀・学問の世界では何々の発見・などなど、決して珍しいことではなく、それが世のために大きく貢献するとノーベル賞にも繋がっています。

私も若い頃 (60 年前) そのような環境に身を置き (サケ・マス海面養殖の研究)、その成果がわが国初であることは認識していたが、世界初?には自信がありませんでした。

ところが、このたび 3. 11 の津波で被害を受け廃棄処分した書籍 (資料 1) と同じ書籍で私が関わった手元のサケ・マス関係の出版物を調べ直したところ「50 年前のコピー印刷は湿式 (青与具) で劣化が激しく、研究報告書は残っていないが、その当時私たちが水産庁へ提出した報告書 (湿式) が、やはり 50 年ほど前にイギリスからサケ・マス海水飼育に関する国際特許?の出願を退けた、という実績を含め」少なくともニジ・マスに関しては世界初の研究だった、との結論に達しました。

今年もまた 3. 11 を迎え、私も夏には 92 歳になります。

冥途が近付くと色気が出てくるのでしょうか?、クラブでは名簿に名を連ねるだけの、いわゆる枯れ木も山の賑わいの会員。そんな存在の私でしたが、何か在籍した証しを残したくなってきました。

そうだ私はいままでブリテンへの投稿を何回かしており、今回もこれが一番効果がありそうです。

かつて私はブリテン 54 号に津波被害を受けた聖書について投稿し、その聖書は川上先生に救っていただき、石巻栄光教会に保存されております。

そんなことから今回の 3. 11 でも聖書と一緒に被害にあい、廃棄処分にした書籍が手に入ったことから、サケ・マスについて自画自賛をさせて頂くことにしました。

またさらに付け加えますと、我がクラブは設立直後から雄勝との関係が深く (船越の桜植樹・波板の帰ってきた小船) 最近では支倉常長 [サンファン・ブアウティスタ建造の地は雄勝湾 (遠藤周作著「侍」では雄勝としている) の子孫をお招きしてのゲストスピーチ。ついには常長の足跡を辿る旅にも会員が参加しております。しかし一方では青木直前会長のご尊父 (故人・元石巻市長) が雄勝町分浜のお生まれ、ということを知っている会員は少なく、ましてサケ・マス海面養殖発生地の地ということを知る会員は皆無でしょう。



↑ 現在の雄勝湾風景 (2024 年 11 月撮影)

70 年も前のこと。朝鮮戦争時代にアメリカ極東軍の司令長官を務めていたマッカーサー元帥が解任され、日本を離れる時に残した「老兵は死なず消え去るのみ」の言葉、私もそんな気持ちを分る歳になり、サケ・マス海面養殖のパイオニアの一人に名を連ねる者として、自画自賛も許して頂けるのでは?とまたまたの投稿となった次第です。



## モノローグ

孵化・放流して漁獲する（今様にいうと SDGs）サケ・マスは、漁業の優等生。

わが国でもアメリカから学び、本格的な孵化・放流を始めたのは明治 21 年（北海道・千歳川）、とその歴史は極めて古いものです。

しかしあの 3. 1 1 以前から海水温の上昇が危惧され始め、最近では北海道でブリが大量に漁獲される反面、孵化・放流したサケが暖水で故郷に回帰できなくなり、漁獲量は急減し、かつて西日本はブリ・東日本はサケと色分けされていた漁食文化園も崩壊してしまいました。またさらに宮城県志津川湾発祥のギンザケも、海水温の上昇による養殖期間の短縮で、小型サイズでの出荷に伴う生産量の減少等々が加わり、サケ・マスの水揚げ量が大幅に落ち込んでしまいました。

一方消費面は？TV で回転寿司の番組をみるとマグロと一・二を争うモテモテぶり。

イクラ・筋子を含め常に品不足、すっかり高嶺（高値）の花。

そこで大手水産会社は漁業協同組合と連携し海で、また NTT グループをはじめとする水産とは異分野の企業が、陸上でいろいろな種類のサケ・マスの養殖を始めております。

一番新しいニュースは気仙沼市で NTT グループが陸上でギンザケの中間飼育とトラウトサーモンの成魚生産をはじめるとのこと（2 月 17 日・河北新報）。これには些か驚かされてしまいました。なにしろ気仙沼は前述のギンザケ海面養殖発祥の志津川の隣街。遂にサケ・マス事情もここまで追い詰められてしまったようです。

このような背景があることから私とサケ・マスの出会い・研究成果等を回顧してみました。

私は 1962 年（昭和 37 年；日本の漁業も獲る漁業から、つくり育てる漁業への転換が求められ、その先進地で仕事をしていた私に宮城へ、との声がかかった）、5 年間勤めた真珠会社を辞め宮城県職員となり、石巻・渡波にあった水産試験場（現水産技術総合センター、渡波・佐須の浜）に赴任しました。

当時の水産試験場はチリ津波の被害を受け機能を果たせず、また漁業形態の転換へのニーズに応えるべく施設の新築（職員増を含む）が決定しておりました。

私が着任した時には上司となる小金沢昭光さん（故人、大学院卒、私とおなじ立場での着任、後にカキ幼少の生態研究で博士、水産庁に転出）がおられ、新築後はともに魚類・貝類を担当することとなっていました。

しかし、二人とも貝（カキ・真珠）はわかっても魚はダメ。とりあえず万石浦に生簀を浮かべ、手当たりしだい魚を飼っていました。

あるとき田代島の定置網を見学に遠征し（私は 20 トン以下の船を操縦する資格あり）、孵化・放流されたサケ稚魚が北洋にも行けずに混獲され・廃棄されるのを見て大きなショックを受けました。

また当時の北洋サケ・マス漁の主漁場であるベーリング海は、低気圧の墓場といわれ漁船の遭難事故も多発し、まさに命を賭しての漁業でした。

これできまりです。魚の対象魚種は寒流系のサケ・マス以外にありません。

西のハマチ（成長するとブリ）養殖に対しての、北のサケ・マス。申し分なしです。

早速準備（飼育水槽の設計、器機等々の検討）に入り、新築を待ちました。〈次月号につづきます〉

↓当時の浅海養殖 ニジマス（日本）



↓新しく建設された県水産試験場（渡波）



お詫び：後編はスペースの関係で次月号（103号）に掲載いたします。いよいよ後編はこの回顧録の核心部分となりますのでお楽しみください。なお、本文に関する資料の一覧表も次月号に掲載いたします。

第 28 回東日本区大会(宇都宮)

第28回 ワイズメンズ国際協会東日本区大会

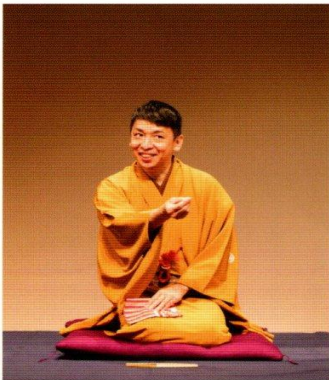
宇都宮大会 2025年6月7日(土)

於:ライトキューブ宇都宮(JR宇都宮駅直結)

大会テーマ

ユース・エンパワーメントの実現

Y's×SDGs Youth Action



特別プログラム  
笑点新レギュラー(2024年4月～)  
立川晴の輔 師匠  
落語会



ライトレールに乗りに来らせ!!!

餃子とクラフトビールの夜!

2026年東日本区大会(石巻)への準備のためにも宇都宮大会に参加して

多くの事を学び、現地を体験して楽しみましょう!